〈我孫子市第四次総合計画〉 魅力ある学校づくり 子どもがいきいきと輝く学校づくり

我孫子市小中一貫教育



赤:目標 青 : 学校教育 緑 : 市による支援

〈 我孫子市教育施策目標 〉

子どもの創造性と自主性をはぐくむ教育の充実

我孫子市学校教育重点目標

「生きる力の育成」

○豊かな心の育成 ○確かな学力の育成 ○健やかな体の育成

目指す子ども像

- ★O「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども(郷土愛)
 - 〇確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども(未来を拓く力)
 - 〇自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども(輝く心)

地域の現状

- ○千葉県の北西部に位置し、北は利根川、南は手賀沼を臨み、自然に恵 まれ、東西に14kmと細長い形をしている。人口は約13万人である。
- ○「将来も我孫子市に住みたい」と願う市民は63%で、近隣市より高い。
- ○市内は、13の小学校が6中学校区に分かれ、西部地区は大・中規模校、 東部地区は小・中規模校となっている。
- ○保護者、地域住民とも学校教育に対する関心が高く、協力的であり、 学校を支援する組織も活発である。
- ○小中学校保護者からは「挨拶指導」への要望が高い。(学校評価より)

各中学校区の児童生徒の実態や発達段階を踏まえて、 生活のきまりや、学習のきまりを統一したり、系統化したり することにより、義務教育9年間を通して、基本的な生活・ 学習習慣を身につけさせる。

【生活のきまり】「あいさつ・返事」「言葉遣い」「清掃」等

【学習のきまり】「学習準備」「板書・ノートの書き方」「家庭学習」等

【我孫子市の共通カリキュラム】

〈我孫子市の教育を象徴する2つのカリキュラム〉

- ○中学校区独自の地域性を生かした「ふるさと学習」の推進
- ○我孫子市の独自性を生かしたキャリア教育の充実
- 〈子どもたちの成長や学びの土台となるカリキュラム〉
- ○我孫子の先人を通して郷土愛を育む道徳教育の推進
- ○小学校第1学年からの系統的な外国語活動・学習の実施
- I C T 教育・活用の推進

〈確かな学力の育成と、個の教育的ニーズに応じた特別支援教育〉

- ○学習指導要領に準拠した教科領域指導・基礎学力の定着
- ○小から中への接続を重視した特別支援教育の推進

X 中 校

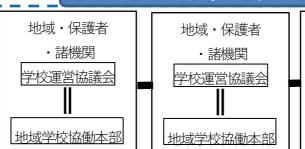


【中学校区の取組の全体構想、推進計画、評価等の検討

コーディネーター: 小中学校教務主任



コミュニティ・スクール



地域·保護者 諸機関 学校運営協議会 **地域学校協働**本部

小中

貫教

協議

숲

我孫子市小中一貫教育のねらい

「我孫子市の未来を拓く 心輝く教育 |

~ 9年間の連続した学びと小中の協働を通して ~

児童・生徒の現状

- ○明るく素直で、前向きに学校生活を送っている子どもが多い。中学校では多 くの生徒が部活動に熱心に取り組んでいる。
- ○「中1ギャップ」と言われる現象が存在する。
- ○基本的生活習慣が十分定着していないこと、自己有用感が不足していること、 コミュニケーション面で自分の考えや意見の発信が苦手であること等が課題と してあげられる。
- ○小中学校とも、国語、算数・数学、英語において、全国・県平均正答率と 「ほぼ同程度」である。(H31年度 全国学力・学習状況調査より)

「人」で つなぐ

中1ギャップの解消



小・中学校の教職員の交流 児童生徒の異学年交流

※ 各学校の状況に応じて実施

推進委員会】

我孫子市教育委員会

- ○小中一貫教育準備支援、指導、助言
- ○広報、啓発活動
- ○特色ある活動支援
- ○長欠対策

- 〇 教育環境整備
- ・必要な予算、備品、施設等の整備
- •ICT機器の整備
- ・連携用市バスの運行
- ・小中一貫教育サポート教員による各中学校区に おける支援
- ・ALTの適切な配置
- ·高等学校·大学等との連携
- •先進地域視察 等

共通カリキュラム部

- ○Abi-ふるさと部会
- ○Abi-キャリア部会
- ○Abi-道徳部会
- ○Abi-English部会
- ○Abi-ICT部会



【小中一貫教育

関係者、保護者代表、学校の 運営に資する活動を行う者、 学校関係者、行政関係者)

(学識経験者、保育園幼稚園

• 基本方針、計画

○推進委員12人以内

- 内容、課題
- その他の事項

についての意見



コーディ ネーター部会

○連携計画

「環境」で

「学習」

つなど

つなぐ

- ○教職員研修企画運営
- ○特別支援教育
- ○就学相談